

2014年7月6日

**第62回カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバルにおいて  
電通グループは計21個の賞を獲得  
メディアエージェンシーとしても30個の受賞作品に関与**

フランスのカンヌ市で開催された第62回「カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル」※（Cannes Lions International Festival of Creativity 2015）において、電通グループは合わせて計21個の賞を獲得しました。

本フェスティバルは、①国際クリエイティビティ・フェスティバル（6月21日～27日）、②ライオンズ・ヘルス・フェスティバル（6月19日～20日）、③新設のライオンズ・イノベーション・フェスティバル（6月25日～26日）の3つで構成されており、今回のフェスティバル全体では94の国と地域から40,133作品のエントリーがありました。

電通グループがそれぞれのフェスティバルで獲得した受賞数は次のとおりです。

- ①国際クリエイティビティ・フェスティバル（計17個の受賞）
  - サイバー部門（銀賞1、銅賞3）
  - デザイン部門（金賞2、銀賞2、銅賞2）
  - フィルム部門（銀賞1）
  - PR部門（銅賞2）
  - プレス部門（銅賞1）
  - プロモ&アクティベーション部門（銅賞3）
- ②ライオンズ・ヘルス・フェスティバル（計1個の受賞）
  - ヘルス&ウェルネス部門（銅賞1）
- ③ライオンズ・イノベーション・フェスティバル（計3個の受賞）
  - クリエイティブ・データ部門（金賞1、銀賞1、銅賞1）

金賞に選ばれた3作品はすべて株式会社電通が制作に関わったものです。デザイン部門の2つは、東日本旅客鉄道株式会社の「行くぜ、東北。」と東京海上日動火災保険株式会社が特別後援を行う「全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技大会」、クリエイティブ・データ部門のものは、独立行政法人日本スポーツ振興センターの作品「国立競技場『Reviving Legends』」です。

この他、電通グループのメディアエージェンシー各社は、計30個（金賞5個、銀賞10個、銅賞14個、ガラス賞1個）の受賞作品に携わりました。

---

※カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル（Cannes Lions International Festival of Creativity）は、カンヌ国際映画祭の一部として劇場広告映画のコンクールからスタートし、1954年からは独立して開催されている。規模の大きさ、審査員構成、入賞作品のレベルの高さなどから、数ある国際広告賞の中でも特に高い評価を得ている。

今年行われた第62回「カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル」は、①国際クリエイティビティ・フェスティバル（6月21日～27日）、②ライオンズ・ヘルス・フェスティバル（6月19日～20日）、③新設のライオンズ・イノベーション・フェスティバル（6月25日～26日）、の3つのフェスティバルで構成され、作品の審査は21の部門で行われた。

21部門は、ブランデッドコンテンツ&エンターテインメント、クリエイティブ・データ、クリエイティブ・エフェクティブネス、サイバー、デザイン、ダイレクト、フィルム、フィルム・クラフト、ヘルス&ウェルネス、イノベーション、メディア、モバイル、アウトドア、ファーマ、PR、プレス、プロダクト・デザイン、プロモ&アクティベーション、ラジオ、チタニウム&インテグレートッド、および今回から新設されたグラス。

以 上